

第1学年〇組 算数科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇限 〇〇〇〇教室 教諭 〇〇 〇〇

1 単元 ひきざん（2）（11時間完了）

2 単元目標

- (1) 繰り下がりのある計算の仕方について理解し、(十何) - (1位数) で、繰り下がりのある計算ができる。 (知識・技能)
- (2) 繰り下がりのある計算の仕方について、ひかれる数やひく数を分解して、計算方法を考えることができる。 (思考・判断・表現)
- (3) 繰り下がりのある計算に興味をもち、「10といくつ」という数の仕組みを用いるよさに気付き、友達との学び合いを通じて進んで計算しようとする。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 構 想

(1) 児童観

- ・本学級は、男子〇名、女子〇名の学級であり、算数の学習に対して、やや苦手意識をもつ児童が多い。しかし、難しく感じる問題にも、解答を求めるまで粘り強く取り組むことができる。
- ・前単元の「たしざん（2）」において、あといくつたせば10になるのかという10のまとまりを作ることは、すぐに理解することができたが、たす数を計算しやすいように分けるといことの意味の理解の定着が不十分であった。
- ・繰り上がりの計算の仕方を言葉で言うことはでき、正しい答えを求めることができても、自信がもてない様子が見られた。

(2) 教材観

- ・本単元は8 - 2のような数の合成や分解をもとに考える計算から進み、13 - 9の計算のように、繰り下がりのあるひき算の計算を学習する。
- ・繰り下がりのあるひき算の計算の仕方は、10のまとまりを分解する減加法を使って学習するが、これは、「たし算（2）」で10のまとまりを作る仕方と逆の手順になる。
- ・繰り下がりのある計算も、やり方を言葉で整理することが理解の定着の手だてとなる。
- ・前単元とともに、(十何) - (1位数) の繰り下がりのある計算は、これからの学習の基礎となるため、確実な習得が必要である。

(3) 指導観

- ・本単元の指導にあたっては、10のまとまりを常に意識させるように、10の束を記したシートを活用する。
- ・前単元「たし算（2）」で学習したように、計算の仕方を言葉で整理して問題に取り組むようにする。
- ・子供の主体的に学ぶ意欲を引き出し、理解の定着と計算に対する自信をもたせるため、友達同士で学び合い、互いに認め合う場や時間を十分に確保して学習を進める。

- ・ 学び合いの学習がスムーズに進められるように、計算の理解度が高い児童と低い児童を組み合わせたり、視覚的に分かりやすい数図ブロックの操作を繰り返し行わせたりすることで、理解を助ける手立てとする。

4 単元計画＜全 1 1 時間 本時：2 時間目＞

学習課題	学習内容	時間	主な手だて
① 数図ブロックを使って計算の仕方を考えよう。	○数図ブロックを使い、 $13 - 9$ の計算の仕方を考える。	1	10 の束が書かれた計算シートを活用する。
② 計算の仕方を言葉で説明しよう。	○計算シートをもとにして、計算の仕方を言葉で整理し、友達に説明する。	1 本時	ペアを組んで、計算の仕方を説明し合う。
③ 十いくつから 9 をひいて、気がついたことを発表しよう。	○ひく数が 6 以上の計算を行い、 10 からひく解き方を練習する。	1	ペアで、計算の仕方では気が付いたことを発表し合う。
④ $13 - 4$ の計算の仕方を考えよう。	○ひく数が 5 以下の計算を行い、 10 からひく解き方を練習する。	1	ペアで、計算の仕方を説明し合う。
⑤ ひき算カードで計算練習をしよう。	○ひき算カードを使って、繰り返し問題を解く。 ○ペアで、問題を出し合う。	3	ペアでひき算カードを使って、ゲームを行う。
⑥ ひき算のカードの並び方を考えよう。	○ペアで、ひき算カードの答えが同じものを順序良く並び、並び方のきまりを見つける。	1	ひき算カードを活用する。
⑦ 数あてゲームをしよう。	○ペアで、数のカードを使った「数あてゲーム」を行う。	1	数と「+」「-」を書いたカードを活用する。
⑧ たし算やひき算の紙芝居を作ろう。	○たし算やひき算の計算のお話を作る。	1	画用紙に紙芝居を書いて、みんなに発表する。
⑨ 確かめよう。	○繰り返し下がりのある計算の仕方を言葉で言い、練習問題を解く。	1	算数の友などの問題を解く。

5 本時の学習

(1) 本時の目標

(十何) - (1位数) で繰り下がりのあるひき算について、計算方法を言葉で説明することができる。(知識・技能)

(2) 手だて

手だて① 計算をする場面で、数図ブロックを10の束が書かれたシートの上に乗せることにより、10のまとまりを意識して計算の仕方を考えることができるようにする。

手だて② 言葉で説明する場面で、座席をペアにてし十分な時間を確保することにより、互いに計算の仕方を説明し合うことができるようにする。

(3) 展 開

アンダーライン：本校の研究に関わる手だて

段階	学 習 活 動	教師の支援
導入 (5)	1 各自で前時の復習をする。 13-9 ・数図ブロックを並べる。 ・10の束から9を取る。 ・残った1個と3個を合わせて4個になるから、答えは4。	・前時にまとめた、「ばらからひく数を取れないひきざんは、10から取ればよい」ことを思い出すよう伝える。 ・10の束が書かれたシートを用意しておく。 ・指名して、ブロックの操作を順番に行わせて解答を全体で共有する。
課題 (1)	2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">けいさんのしかたを ことばでわかりやすく せつめいしよう</div>	・本時の学習課題を板書する。
展開 (35) 13	3 12-7の計算の仕方を個人で考えて言葉でノートに書く。 (個人追究) ① 12を10と2にわける。 ② 10から7をひいて3。 ③ 3と2を合わせて5になる。	・10の束が書かれたシートと数図ブロックを使い、10からひくことを助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">手だて①</div> ・とまどっている児童に、やり方を言葉で書いた計算カードを渡し、それに当てはめて説明するように助言する。
3	4 3で書いた内容を声に出して言って確かめる。	・ノートに書いたことを数図ブロックを操作しながら、各自で声に出して確かめるように伝える。
14	5 計算の仕方をペアに言葉で説明する。 (学び合い) ・数図ブロックを動かしながら説明するのは難しいけど、教えるのは楽しいな。 ・説明をわかってくれて、うれしいな。 ・自分のやり方と同じなので、よく分かったよ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">〈主発問〉計算の仕方を友達に分かるように説明しよう。</div> ・ <u>座席をペアにし、互いの説明を聞き合うようにする。</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">手だて②</div> ・理解できた説明にはうなずき、分かりにくい説明はお互いに補い合うよう伝える。 ・初めは全体の様子を観察し、学習状況

<p>5</p> <p>整理 (4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分からなくなったので、ペアの子に助けてもらおう。 ・説明ができたから、ひき算の計算問題をたくさん解きたいな。 <p>6 教科書P 1 1 3 4の適用題を解く。</p> <p>15 - 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15を10と5にわけて、10から6をひいて4。4と5で9になる。 <p>7 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やり方が分かって、友達に上手に説明することができたよ。 ・計算の仕方が分かったので、もっと問題を解いてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> の把握に努める。 ・理解できたら、ノートにサインするように伝える。 ・できる限り子供同士の学び合いを促し、必要な支援を行う。 ・計算の仕方を言葉で書き、答えを求めることを伝える。 ・とまどっている児童には、やり方を書いた計算カードを渡して解くように促す。 ・本時でできるようになったことや分かったことを発表するように促す。 ・意欲的に取り組んだことを称賛する。
----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 評価規準

計算の仕方を整理して、10のまとまりからひく方法を友達に言葉で説明することができたか。(活動5の発表より)